

1 当該学年・学期等における探究課題 《地域の伝統と文化について考える》

2 単元名 『ちいきの宝を見つけよう』 (全15時間=実施時期: 9月~11月)

3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

地域にのこる文化財や言い伝えを、資料を使って調べることで、出部地区に伝わる文化財や地域の名人さんについて知り、名人さんの話を聞いたり技を見せてもらったりする活動を通して、地域の特色や名人さんのすばらしさに気づき、自分たちの住んでいる地域について分かりやすく伝えることができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		・地域にのこる文化財や言い伝えや文化を知り、出部地区にはどんな名人さんがいるのかについて課題を見つける。	・名人さんにインタビューをする。 ・地域の人から話を聞く。 ・資料を使って調べる。	・地域の文化財や名人さんの技について、わかったことや体験したことを整理する。	・地域の特色や名人さんのすばらしさを紹介するために適切な発表方法を選び、分かりやすく伝える。
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> (郷土愛と当事者性)	出部地区の文化財について、調べたり、見学に行ったりすることで、出部地区のよさを実感できた。	文化財の見学や、名人さんにインタビューをすることで、出部地区のことをより多く知ることができた。		出部地区のよさについてまとめたことを発表することを通して、出部地区の一員だということを自覚することができた。
	<b>やり抜く力</b> (忍耐と向上心)				
	<b>まき込む力</b> (発信と協働)	・出部地区の特色を見つける際、出部地区のよさや課題を話し合うことで考えることができた。		調べたり、話し合ったりしたことを共有することで、多面的に考えることができるようになった。	出部地区のよさや課題について話し合う際、友達に対して、自分の考えを分かりやすく伝えることができた。
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>	地域の文化財の見学に行く	パンフレット 公民館だより 市広報 インターネット 見学		
	<b>ひと</b>	文化財を管理している人の話を聞く	ゲストティーチャー (名人さん)		
	<b>しごと(こと)</b>				出部地区や井原市のよさをまとめたものを公民館に掲示してもらう。
<b>アウトプットの工夫</b>		グループごとに発表を聞きあったり、クラスごとに交流しあったりする。発表会に地域ボランティアの方をお招きし、学習成果の発表を聞いてもらう。(R4は実施できず)			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

◆単元のねらい「地域にのこる文化財や言い伝えを、資料を使って調べることで、出部地区に伝わる文化財や地域の名人さんについて知り、名人さんの話を聞いたり技を見せてもらったりする活動を通して、地域の特色や名人さんのすばらしさに気づき、自分たちの住んでいる地域について分かりやすく伝えることができるようにする。」

課題設定

出部のよいところはないか話し合う中で、出部の文化財について知る。



史料「出部の史跡」で文化財を調べる。史料だけではわからないことを調べるために、出部小の近くの金鴨寺へ見学する計画を立てる。

情報収集



出部地区の文化財を実際に見学することで、出部の魅力について知る。



出部地区の文化財以外で、出部のよいところをさらに話し合い、出部の名人さんと交流する計画を立てる。



5人の名人さんと交流し、出部にはすごい人がいることを知る。

整理・分析

インタビューをしたり、教えてもらったりしたことの内容をまとめたり、話し合ったりする。

まとめ・表現

「出部のいいところ」の新聞を作り、まとめる。



クラスで発表をする。

◆ 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 出部地区には、国内でも有数の重要文化財があることを知った。また、デニムの工場や販売店についても学区内にあることを、より実感することで、地域に愛着をもつことができた。
- △出部地区にはまだまだ多くの宝があるが、教師も児童も見つけ切れていない。また、まとめ・表現のしかたを工夫する必要がある。
- ☆公民館と連携を図り、地域の文化財や伝統について情報収集をする。今年度は、金鴨寺と、名人さんについてだけだったが、来年度は、出部地区の他の文化財や伝統についても広げていきたい。